2022 年 3 月

作成：ＳＴスポット横浜

スクール オブ ダンス

School of Dance Project

事業実施報告書

アーティストが学校へ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局）

【概要】

プロのアーティストが横浜市の学校に出向き、授業を通して自由な発想を導き、豊かな感性を育てる「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」。2021 年度は横浜市のダンスフェスティバル、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動し【体験型スペシャル版】として実施回数を増やし、ダンスプログラムを拡充。50 日間にわたり、8 人のアーティストが市内 9 校で 549 名の子どもたちとともに身体と向き合い、創造性を育む活動を行いました。

【取組校と担当アーティスト】

区	学校名	学年・対象	担当アーティスト
鶴見	平安小学校	個別支援学級	森下真樹 （アシスタント：宮崎あかね、酒井直之）
南	太田小学校	3 年生	中村恩恵 （アシスタント：愛智伸江）
南	南小学校	個別支援学級	黒田育世 （アシスタント：岡田玲奈／音楽家：松本じろ）
港南	日限山小学校	個別支援学級	アオキ裕キ （アシスタント：西 篤近／音楽家：薄井信介）
保土ケ谷	川島小学校	4 年生	小野寺修二 （アシスタント：藤田桃子）
港北	師岡小学校	3 年生	Co.山田うん（川合ロン） （アシスタント：山口将太朗、山根海音）
戸塚	倉田小学校	5 年生	東野祥子 （アシスタント：矢島みなみ）
栄	豊田小学校	個別支援学級	白神ももこ （アシスタント：北川結）
保土ケ谷	ろう特別支援学校	高等部	アオキ裕キ （アシスタント：西 篤近、木村愛子／ 音楽家：薄井信介、伊澤陽一、菅又健）

【アーティスト】

森下 真樹｜振付家・ダンサー

幼少期に転校先の友達作りで開発した遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上で作品を上演、様々な分野のアーティストとコラボし活動の場を広げる。2017年より自身のソロ「ベートーヴェン 交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」（振付：MIKIKO、森山未來、石川直樹、笠井叡）を展開。100人100様をモットーにワークショップや作品づくりを行う。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不能、奇想天外ワールドが特徴。2014年第8回日本ダンスフォーラム賞を受賞。

中村 恩恵｜振付家・ダンサー

ローザンヌコンクールにて賞受賞後渡欧。モンテカルロ・バレエ団等を経て、イリ・キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し、世界を牽引する振付家達の創作に携わる。退団後は、キリアン作品のコーチも務め、世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。07年より活動拠点を日本に移し振付家としての活動を展開。Noism、Kバレエ、新国立劇場バレエ団等に作品を提供する。芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章等受賞多数。

黒田 育世｜振付家・ダンサー

6歳よりクラシックバレエを始め、1997年渡英、コンテンポラリーダンスを学ぶ。2002年BATIKを設立。バレエテクニックを基礎に、身体を極限まで追いつめる過激でダイナミックな振付は、踊りが持つ本来的な衝動と結びつき、ジャンルを超えて支持されている。BATIKでの活動に加え、金森穣率いるNoism05、飴屋法水、古川日出男、笠井叡、野田秀樹、串田和美など様々なアーティストとのクリエーションも多い。

アオキ 裕キ｜振付家

タレントのバックダンサー業などを経て「日々生きることに向き合わざる得ない体」を求め、2005年より路上生活経験者を集めダンスグループ「新人Hソケリッサ！」を開始。2004年NEXTREAM21最優秀賞受賞、コニカミノルタソーシャルデザインアワード2016グランプリ受賞。活動を追ったドキュメンタリー映画「ダンシング・ホームレス」全国上映中。

小野寺 修二｜演出家

カンパニーデラシネラ主宰。日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。1995年～2006年パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として１年間フランスに滞在。帰国後カンパニーデラシネラを立ち上げる。マイムの動きをベースにした独自の演出で注目を集めている。野外劇や学校巡回公演など、劇場内にとどまらないパフォーマンスにも積極的に取り組んでいる。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。2015年度文化庁文化交流使。

Co.山田うん（川合ロン）｜ダンスカンパニー

山田うんが 2002 年に設立。繊細かつ生命力あふれるダイナミックなダンスは世界各地から注目され、国内外で公演。また、全国各地の劇場、学校、福祉施設におけるワークショップで心身の育成にも貢献している。川合ロンは 2008 年より Co.山田うんのメンバー、全公演に出演。アウトリーチでは、全国各地でワークショップを行っている。その他、国内外で活躍する振付家や演出家のダンス作品、ミュージカル、オペラ、演劇、映画、MV 等に多数出演。

東野 祥子｜振付家・ダンサー

90 年代後半より舞台芸術から音楽シーンなど、様々な形態にて身体性を駆使した作品を発表。現在はジャンルレスなアーティストの集合体として総合舞台芸術を創造する ANTIBODIES Collective を主宰し、国内外にて活動する。ダンサー育成 WS や学校、福祉施設へのアウトリーチ、地域の活性化に根ざしたコミュニケーションワークも積極的に行う。トヨタコレオグラフィーアワード、横浜ダンスコレクションソロ・デュオ〈Competition〉など受賞。

白神 ももこ｜振付家・演出家・ダンサー

衣装デザインや保育士、イラストレーター、バリスタなど多彩なパフォーマー達で構成されたダンス・パフォーマンス的グループモモンガ・コンプレックスを主宰し、ダンスを用いて普段の生活の中の些細なできごとや個人史、願望などに着想した作品を創作し活動している。2017-2018 年度セゾン文化財団ジュニアフェロー。現在、劇作家・演出家の田上豊氏と共に富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督を務める。

【コーディネーター】

NPO 法人 Offsite Dance Project（オフサイト・ダンスプロジェクト）

Offsite（オフサイト）は、「日常の場を離れて」の意。Offsite Dance Project は、劇場以外のさまざまな場所でダンスを軸としたパフォーミングアーツを推進するチームとして 2008 年 3 月に結成。2009 年 6 月 NPO 法人設立。公共交通機関や近代建築、美術の建物資産、商業空間、ストリートなど、横浜を拠点に国内外の都市空間で、多分野のアーティストによるアクセスビリティの高いプロジェクトを企画・制作。また、2009 年より、アート教育のコーディネートを実施し、パフォーミングアーツの普及に取り組んでいる。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立平安小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス１

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	森下真樹（振付家、ダンサー）／アシスタント：宮崎あかね、酒井直之
実施校	平安小学校（鶴見区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級 30 名
実施日程	2022 年 2 月 9 日(水)、2022 年 2 月 14 日(月)、2022 年 2 月 16 日(水)、2022 年 2 月 21 日(月)、2022 年 2 月 24 日(木)

授業のねらい

振付家・ダンサーの森下真樹による体験型ワークショップを５日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。最終的に、本活動をまとめた映像作品を制作し、学校内外で公開。

主な内容

＜１日目＞自己紹介ダンス～まねっこダンス～ペアワーク～ディスタンスの踊り～紙ヒコーキ　＜２日目＞ウォーミングアップ～まねっこダンス～ディスタンスの踊り～ペアワーク～月のダンス　＜３日目＞ウォーミングアップ～ディスタンスの踊り～月のダンス～紙ヒコーキ～まねっこダンス～太鼓ゲーム　＜４日目＞ウォーミングアップ～通し・収録リハーサル　＜５日目＞ウォーミングアップ～収録本番～自由ダンス！

アーティストから

平安小学校の子どもたちは、ボールを１個投げたら 100 個返ってくるようなパーっと明るく感情表現が豊かでした。事前の質問カードでインタビューしていた返事をヒントに、アイデアを拾って広げながら、発散するようなダンスや、イメージして動くゆっくりなダンスなど挑戦してもらいましたが、どれも好奇心を持って参加してくれました。時間を積み重ねるごとに心とからだの距離が縮まり、30 人それぞれの楽しみ方があることを感じました。初回隅っこにいた子がいつの間にか常に私の横にくっついてガンガンに踊っていました。先生方のフォローが行き届いていたので、子どもたちの小さな反応にも気付きながら進行することができました。きっともっともっと小さい、目に見えない反応があるのだろうと思います。映像配信となりましたが、楽しく達成感のある時間でした。また多くの子どもたちにこのような機会を増やしていただきたいです。

コーディネーターから

今回当法人初となる平安小学校の個別支援学級では、ワークショップ経験豊富な森下真樹さんに担当していただきました。公開授業の代わりに映像作品の制作を目標に据えて、子どもたちの動きや考えをもとに活動を作っていくこと、楽しみながら身体をたくさん動かすことの素晴らしさを体験してもらおうという内容です。事前に森下さんから子どもたちにお手紙や質問カードの応答もあって、初日の緊張もほぐれたようでした。コロナ禍の日常をダンスにした「ディスタンスの踊り」や「月のダンス」、子どもたちが大好きでアンコールをせがむほど。今回当法人初となる学校でしたが、先生方も一緒に楽しんで場の雰囲気を作っていたり、他の教科との関わりなど本活動を日々の教育活動に結びつけてくれたことで大変充実した活動になりました。

先生から

アーティストとコーディネーターと密に連絡を取ることができ、安心して取り組むことができました。アーティストの方からは、事前にすてきな自己紹介を送っていただき子どもたちもワクワクした気持ちで当日を迎えることができました。実際の授業では、一人ひとりの発言や動きを丁寧にひろってくれたり、声を掛けたり、事前に子どもたちにとったアンケート結果をダンスに取り入れたり子どもたちみんなが楽しめるような工夫をしていただいたことに感動しました。授業の盛り上げ方も素晴らしく、普段見られないような生き生きとした笑顔を見られてよかったです。また、適度な時間でさまざまな表現を取り入れてくれたので、子どもたちが飽きずに取り組めました。その他、言葉を付けながらのダンスがとても分かりやすい上に楽しいダンスで、子どもたちも大人もノリノリで踊ることができました。今回の取組を通して、個別支援学級では外部講師を呼ぶことが初めてでどうなるかと思っていましたが、臆することなくすぐに親しくなれていたので、いろいろな方と関わることは社会性を育むためにとてもよいことであると感じました。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立太田小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス２

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	中村恩恵（振付家、ダンサー）／アシスタント：愛智伸江
実施校	太田小学校（南区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／3 学年 2 学級 45 名、公開授業参加者 50 名
実施日程	2021 年 11 月 25 日(木)、2021 年 11 月 30 日(火)、2021 年 12 月 2 日(木)、2021 年 12 月 7 日(火)、2021 年 12 月 9 日(木)、2021 年 12 月 14 日(火)

授業のねらい

横浜出身で世界規模で活躍している振付家・ダンサーの中村恩恵による体験型ワークショップを６日間行い、クラシックバレエをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。最終日に公開授業を行う。

主な内容

＜１日目＞ストレッチ、「くるみ割り人形」のマーチの練習、即興など　＜２日目＞ストレッチ、マーチの復習と新しいパートの練習、絵本「くるみ割り人形」の読み聞かせ　＜３日目＞ストレッチ、マーチの復習と新しいパートの練習、自由な表現、バレエのお話　＜４日目＞ストレッチ、マーチの復習と新しいパートの練習、バレエのステップ　＜５日目＞ストレッチ、各パートの練習～最後の挨拶、通しリハーサル　＜６日目＞ストレッチ、リハーサル、パフォーマンスの発表（クラス別）

アーティストから

今回は「くるみ割り人形」をテーマに選び、舞踊を様々な角度から体験してもらうように努めました。チャイコフスキーの美しい音楽に乗って楽しく体を動かしたり、想像力を膨らませて自由に表現したり、バレエのステップに挑戦したりしました。また静かに音楽に耳を傾ける時間や、「くるみ割り人形」の絵本の読み聞かせの時間を持ちました。ダンスによりエネルギーを発散した後に、静かに耳を澄ませることで子どもたちの集中力が一気に高まりました。最終回の発表では、皆が最後のレベランス（大いなるものへの感謝と畏敬の念をこめてのバレエのお辞儀）まで心を込めて演技をしてくれました。ダンスを通じて子どもたちの心に触れることができ、私自身も人間の機微に関する豊かな学びの時間を頂きました。いつか、小学生の皆さんに「くるみ割り人形」の観劇体験をプレゼントしたいと心から願っています。

コーディネーターから

横浜市芸術文化教育プラットフォーム初体験の太田小学校では、子どもたちに本物の芸術に出会わせたい！という要望がありました。そこで、横浜出身で世界を舞台に活躍する舞踊家の中村恩恵さんに担当していただきました。テーマは、「くるみ割り人形」。想像力を解放させて育むことと振り付けを覚えてそれを正確に再現すること、その２つの要素を取り混ぜたダンスの基礎運動を軸に、バレエを生み出した国の歴史や劇場文化にも触れて子どもたちの意欲や動機づけにつなげようとしました。日頃の学級作りにおける課題もあり、全員の子どもたちを引き込むことは容易ではありませんでしたが、徐々に子どもたちが落ち着いて参加できるようになりました。ダンスを通じて、中村さんの立ち居振る舞いや言葉の数々、人としての美しい生き方など芸術を深く感じとる貴重な時間になったと思います。最後の発表では、4 年生も見学参加。中村さんのダンスのプレゼントもありました。

先生から

子どもたちと素敵なアーティストとの出会いが宝物となった。バレエのステップや言葉からイメージしたことを身体で表現することなど、なかなか経験できない貴重な体験をさせることができました。ダンスに苦手意識のある子も、アーティストからの温かい支援で安心して活動していました。苦手な子の笑顔がこの貴重な出会いをよく表していました。

子どもたちから

くるみ割り人形を初めて知った。みんなと本番に向けて練習したことが楽しかった。／恩恵さんのダンスを観ることができたのが思い出に残った。／雪の場面や星を追いかける場面が楽しかった。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立南小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス３

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	黒田育世（振付家、ダンサー、BATIK 主宰）／アシスタント：岡田玲奈、松本じろ
実施校	南小学校（南区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級 25 名、公開授業参加者 20 名
実施日程	2021 年 11 月 8 日(月)、2021 年 11 月 10 日(水)、2021 年 11 月 12 日(金)、2021 年 11 月 15 日(月)、2021 年 11 月 16 日(火)

授業のねらい

振付家・ダンサーの黒田育世による体験型ワークショップを５日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。最終日の公開授業にて成果発表を行う。

主な内容

＜１日目＞ウォーミングアップ、クリスマスをテーマにした絵からのイメージとダンス
＜２日目＞ウォーミングアップ、動詞ダンス（音楽と一緒に）、新聞紙で衣装をつくる、振り返り
＜３日目＞ウォーミングアップ、まねっこダンス、新聞紙でドラゴンづくり、振り返り
＜４日目＞ウォーミングアップ、パフォーマンス内容をひとつずつ確認、振り返り
＜５日目＞準備・通しリハーサル／発表

アーティストから

１年生から６年生の子どもたちが、ダンスの発表に使う小道具を自分たちで夢中になって作ってくれた姿、とても印象的でした。音楽の歌詞も作ってくれて、振付も考えてくれました。みんなの温かいクラフトのダンスの中に、みんなのお母さん方を招き入れ一緒に踊り、大変温かい時間を創り上げてくれました。子どもたちが５回の授業の中で、どんどん創造的になってくれたので、私から一度だけお礼のダンスをしたのですが、毎回お礼ダンスをしても足りない、そういう経験をさせて貰いました。

コーディネーターから

横浜市芸術文化教育プラットフォーム初体験の南小学校では、黒田育世さんに担当していただきました。音楽家・松本じろさんもコラボレーターとして参加。クリスマスを主題に、身体だけでなく、音楽や美術の要素も加えた総合的な内容が特徴。最終日には父兄参加の公開授業にて、ひとつの作品を発表することを目指しました。日頃の学級作りにおける課題もあり、全員の子どもたちを引き込むことは容易ではありませんでしたが、先生方が一緒に集中しやすい環境を整えてくれたことで、徐々に子どもたちが落ち着いて参加できるようになりました。最後の発表では、みんなで作った新聞紙の巨大ドラゴンも登場、子どもたちのダンスにギターの音色も加わってとても素敵な空間となりました。コロナで行事が減る中で、子どもたちにとっても親御さんにとっても心に残る思い出になったと感じました。

先生から

本物のダンサーやミュージシャンの方が来てくれると子どもたちに伝えた時、とても期待感が高まったことを感じました。クリスマスのイラストを描くところから始まって、子どもたちの反応を見ながら、活動できそうなことを考えて企画していただけたことがありがたかったです。また、見栄えのする大きなドラゴンを作っていけたことは、素晴らしいなあと感じました。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立日限山小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス４

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	アオキ裕キ（ダンサー、振付家）／アシスタント：西篤近、薄井信介
実施校	日限山小学校（港南区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級 15 名、公開授業参加者 20 名
実施日程	2021 年 11 月 18 日(木)、2021 年 11 月 19 日(金)、2021 年 11 月 22 日(月)、2021 年 11 月 24 日(水)、2021 年 11 月 26 日(金)、2021 年 11 月 29 日(月)

授業のねらい

ダンサー・振付家のアオキ裕キによる体験型ワークショップを６日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。後半からは音楽家も参加し、最終日の公開授業にて成果発表を行う。

主な内容

＜１日目＞ウォーミングアップ、絵のイメージで踊る、踊りを絵を描く　＜２日目＞ウォーミングアップ、絵のイメージで踊る、踊りを絵を描く、言葉のイメージで動く　＜３日目＞ウォーミングアップ、絵のイメージでチェロと踊る、それぞれのダンス　＜４日目＞ウォーミングアップ、絵↹踊り、２人組で動きのキャッチボール、マスク作り　＜５日目＞ウォーミングアップ、絵↹踊り、全体の流れをリハーサル　＜６日目＞ウォーミングアップ、確認／学級発表会「ケモノのおどり」

アーティストから

個別支援学級の子どもたちと踊りを通して触れる貴重な機会に感謝しています。集団の（中にある）身体と個人の身体という視点で子どもたちの踊りを今回観察させてもらいました。必然的に社会という大きな集団と関わる身体は、身を守るためなのか集団に影響されていると感じることが多いですが、子どもたちはみなそれぞれ独自の踊りを立派に持っていて、とても強靭な個々の存在を感じることができました。それと相反するように、揃えることや自身を抑えることは苦手でありましたが、それは集団に依存をしていない身体という証拠でもあり、お父さんお母さんの愛情という安心感があるからこそ生まれる強靭な個々の踊りなのかもしれません。親御さんたちの温かい拍手を目一杯受け頭を撫でられている子どもたちの姿、その景色は今の世の中においてとても大切な景色であったと感じます。

コーディネーターから

今回当法人初となる日限山小学校の個別支援学級は、アオキ裕キさんに担当していただきました。講師たちの原初的な踊りを見せることから始まり、身体と絵を用いたイメージの展開を繰り返すことで、子どもたちが少しずつ自由に踊り出す素晴らしい瞬間。「スゴイぞ！」「ナイス！」とのアオキさんの丁寧な声がけも後押ししていました。チェロの生演奏やパフォーマンスの小道具としてのマスク作りなど、五感を刺激する多様なアプローチもあり、子どもたちの興味を惹きつけ、最後のパフォーマンスへとつなげていく。最初に参加が難しいと思われる子どもたちも、最後には自分の踊りを披露、確かな成長を感じさせる機会となりました。先生方も一緒にワークを行い、フォローしてくださったことで、とてもいい時間が持てました。

先生から

大変素晴らしい授業でした。子どもたちに寄り添った魅力のある学習を展開し、子どもたち一人ひとりの想像力や表現力を引き出していただきました。最終日には発表会をして「ケモノおどり」を保護者の方に見てもらい子どもたちはとても満足していました。６日間の授業を通して子どもたちの確かな成長が見られたことに、関わってくださった全ての方々に感謝しています。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立川島小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス５

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	小野寺修二（演出家、カンパニーデラシネラ主宰）／アシスタント：藤田桃子
実施校	川島小学校（保土ケ谷区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／4 学年 3 学級 82 名
実施日程	2022 年 2 月 4 日(金)、2022 年 2 月 7 日(月)、2022 年 2 月 8 日(火)

授業のねらい

マイムの動きをベースにした独自の演出で注目を集める小野寺修二による体験型ワークショップを３日間行い、マイムをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。

主な内容

＜１日目＞まねっこ、動きの伝達、鏡と応用編（菱形で動く）、パントマイムに挑戦（1 クラス目）
＜２日目＞まねっこ、動きの伝達、鏡と応用編（菱形で動く）、パントマイムに挑戦（2 クラス目）
＜３日目＞まねっこ、動きの伝達、鏡と応用編（菱形で動く）、パントマイムに挑戦（3 クラス目）

アーティストから

コロナ感染者数増加の兆しを感じながら、２月頭に保土ケ谷区の川島小学校で４年生３クラス、各々２時限 90 分を担当させて頂きました。ストーブを焚きながらも体育館のドアは全開の中、子どもたちは終始大変前向きで好奇心旺盛、身体を動かす楽しさ、周りと動きを合わせるスリリングさ、目の前で起こることへの想像力を働かせる自発性、自分で手を挙げまた相手の姿勢も尊重する人が多く、このようなコロナの時期、自尊、他尊の時間を持てたことは貴重な時間でした。

コーディネーターから

横浜市芸術文化教育プラットフォームでは今回初のダンスの取り組みとなった川島小学校。コロナ感染拡大による影響で昨年から延期、当初５日間の予定が学年全体での活動を中止して３日間クラス別に実施しました。テーマは、「相手をよく見てまねしてみよう！」。人の動きをじっくり観察してまねっこすることから始まり、２人組から４人組へ、いつの間にかグループごとでオリジナルな表現を生み出していく子どもたち。初めから表現に没頭し、夢中になって取り組めていました。身体によって空間を動かし想像力を刺激してマイムの魅力に引き込んでいくアーティストの手腕はお見事！集中することで静寂を作り出すパントマイム特有の表現力は、アート教育に非常に有効だと思います。

先生から

子どもたちが集中して楽しんでおり、よく見てよく聞いて、まねをしていく中で自分のことや友達のことを知ろう、分かろうとしているのを感じました。アーティストに魅力を感じ、自然と「やってみたい」「できるようになりたい」という思いが引き出されていったのを子どもの姿から感じました。

先生から

友達に上手と言われてうれしかった。／この授業でみんなとなかが深まった。／パントマイムはかんたんだと思ってたけど、すこしむずかしくてすごく楽しかった。／友達といっしょにやっているときに自分のことをまねしたり友達のこともまねしたりして楽しかった。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立師岡小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス６

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	Co.山田うん（ダンスカンパニー／リーダー：川合ロン／アシスタント：山口将太朗、山根海音）
実施校	師岡小学校（港北区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／3 学年 5 学級 210 名、公開授業参加者 250 名
実施日程	2021 年 12 月 20 日(月)、2021 年 12 月 22 日(水)、2021 年 12 月 23 日(木)、2022 年 1 月 12 日(水)、2022 年 1 月 17 日(月)、2022 年 1 月 18 日(火)、2022 年 1 月 20 日(木)、2022 年 1 月 21 日(金)

photo：赤木遥

授業のねらい

Co.山田うんによる体験型ワークショップを８日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。最終日に、近隣の港北公会堂にて発表公開授業を行う。

主な内容

＜１日目＞ウォーミングアップ、まねっこダンス、色んなイメージで動く、身体でつながる、輪の中心で踊る　＜２日目＞ウォーミングアップ、まねっこダンス、色んなイメージで動く、身体でつながる、輪の中心で踊る　＜３日目＞ウォーミングアップ、みんなでつながる、身体でジャンケン、まねっこダンス、振り付けの練習　＜４日目＞ウォーミングアップ、オリジナルのポーズ、輪になって動く、海の生き物になる、振り付けの練習　＜５日目＞ウォーミングアップ、輪になって動く、振り付けの練習、海の生き物になる、集団でウェーブ　＜６日目＞ウォーミングアップ、発表の流れの確認　＜７日目＞港北公会堂にてリハーサル　＜８日目＞港北公会堂にてリハーサル（音響・照明付き）、本番

アーティストから

横浜市立師岡小学校３年生 210 名を担当させていただきました。多くのアウトリーチ経験のなかでも５クラス 210 名は最多のボリューム感で、全８回で最終日の港北公会堂での発表を目指し、出会いからの逆算が綿密に必要でした。児童一人ひとりの体験をどのように「濃い」ものに出来るかを考慮し、全体を巻き込んで、自分事として創作体験をしてもらう事を意識して実施しました。大人数の学校の宿命的な部分ですが、先生方の指導が行きとどいており、児童の多くが指導されることに慣れている部分がありました。その部分を、失敗を恐れず、自分で課題を見つけて解決してもらうために、ダンスには勝ち負けも失敗もなく、何をしても踊りになるということをなるべく丁寧に説明するように心がけました。

コーディネーターから

今回初の取組となった師岡小学校では、大規模校ゆえに文化活動の機会が限られているとのことで、DDD の枠組を最大限活用し、近隣の港北公会堂における最終発表を組み込みました。当法人にとっても例のない規模での活動のため、これまで校外プログラムを一緒に手掛けてきた Co.山田うんに担当していただきました。最初はクラス別から始めて、全体活動へと展開し、公会堂も２日間使用。児童数に対して体育館や公会堂の狭さのことを考えると、想定していた以上にスムーズに進行できていたように思います。子どもたちと先生方が常に意欲的に参加してくれていたことや、日頃からの先生方と児童達の関係性の賜物でもあるでしょう。また、活動中の川合さんからの声かけも常に明確であり、それが児童の信頼を得ることにつながっていたように感じました。発表には、保護者など約 250 名が参加。地域の公共ホールと教育機関との良好な関係づくりにもなったかと思います。

先生から

このような取組方法があったのかと新たな発見になりました。“自由に”という経験が少ないので、初めは戸惑っていた児童たちも、だんだん自信を持って楽しんで表現する様子に感動しました。個別支援学級の児童にも自然に、しかも手厚くサポートしていただき、保護者も感謝していました。「あの子はあの子で良いんだと思えた」という意見がありました。

子どもたちから

友だちと力を合わせておどることができて、楽しかった。／運動会のダンスとちがって自由におどれたので楽しかった。／合わせる事の大切さ、やりきる事の大事さ、自由におどる楽しさを学んだ。／全員で力を合わせるとすごいことができるんだなと思った。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立倉田小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス７

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	東野祥子（振付家、ダンサー、ANTIBODIES Collective 主宰）／アシスタント：矢島みなみ
実施校	倉田小学校（戸塚区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／5 学年 2 学級 86 名
実施日程	2021 年 10 月 21 日(木)、2021 年 10 月 25 日(月)、2021 年 10 月 26 日(火)

授業のねらい

振付家・ダンサーの東野祥子による体験型ワークショップを３日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。

主な内容

＜１日目＞デモンストレーション、ストレッチ、音楽に合わせたダンスの振り付け
＜２日目＞ストレッチ、ダンスの振り付け、身体を自由に動かす（ボールのイメージ）
＜３日目＞ストレッチ、ダンスの振り付け、身体を自由に動かす（言葉のイメージ）

アーティストから

コロナ禍でのダンス WS としては、コンタクトできない、対面では近づけないなど、制限されたワークとはなりましたが、３日間の集中したワークの中で、子どもたち本来の自由に伸び伸びとした身体性や感覚を呼び起こし、マスク越しでしたがワクワクした表情や笑顔などが溢れ、最初おとなしかった子どもたちが踊ることで解放され、想像したことを体現化する面白さを感じてくれたと思います。担任の先生からもこのワークの一部を授業に取り入れたいと言う感想をいただいたことは、今後もこの活動が日常の授業内で継承され、子どもたちの身体の可能性を引き出していってくださることを期待します。

コーディネーターから

学年全体でのダンス創作と発表を想定して、ユニークな集団創作で定評のある東野祥子さんに担当していただきました。コロナ感染拡大による影響でクラスごとの活動に変更となったため、コンテンポラリーダンスのキーとなる身体の使い方に集中して行いました。各クラス１コマ３時限の取組でしたが、自由に身体が動かせるようになった児童が多く、身体能力や表現力といった心身両面での成長を実感しました。学校の実技発表会を迎えた子どもたちにとって、身体感覚を磨く貴重な体験になったようで、良いタイミングで活動が行えたと思います。

先生から

自分自身、大学生のときからストリートダンスをやっていて、身体を動かすことや、表現することが好きなので、今回の授業はとても楽しかったです。また、指導者としては、今まで私の意識していなかった身体の使い方などが知れたので、とても勉強になりました。

子どもたちから

みんなが楽しくできて、前よりも心が広くなった気がした。／そっきょうでやることがすごかった。感動！！／この授業をしたら体育実技発表会の練習もはずかしがらず自信をもって 300%でおどれるようになった。／ダンスがたのしくなった。／みんなで楽しく出前ダンスをして、楽しかった。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立豊田小学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス８

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	白神ももこ（振付家、演出家、ダンサー）／アシスタント：北川結
実施校	豊田小学校（栄区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級 25 名、公開授業参加者 17 名
実施日程	2021 年 10 月 26 日(火)、2021 年 10 月 29 日(金)、2021 年 11 月 2 日(火)、2021 年 11 月 4 日(木)、2021 年 11 月 5 日(金)

授業のねらい

振付家・ダンサーの白神ももこさんによる体験型ワークショップを５日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。最終日には、公開授業にて成果発表を行う。

主な内容

＜１日目＞ウォーミングアップ、だるまさんが転んだ変形バージョン、電流回し、ゆっくりゾンビ鬼　＜２日目＞ウォーミングアップ、電流回し、新聞紙で動く、トイレットペーパーのこよりで動く（２人組～みんなで～運動会ゴール！）　＜３日目＞ウォーミングアップ、電流回し、トイレットペーパーのこよりで動く（２人組で『私たちと紙』発表）　＜４日目＞ウォーミングアップ、新聞紙で自由ダンス、だるまさんが転んだ変形バージョン、トイレットペーパーのゴール　＜５日目＞ウォーミングアップ、空気の綿あめ、電流回し、氷の魔法／発表

アーティストから

出会った彼らはダンスが大好きで「踊る」ことに純粋で、いつもなにかこねくり回している私は自分に少し反省するくらいでした。アシスタントの北川さんと特に感動したのは、みんなが「待てる」人たちであることでした。１年生～６年生までの年齢の差があってもお互いのダンスや言葉のないやり取りに耳を傾け、人がじっくり踊るところを見て、時間を気にする事もなくゆったりとダンスに集中する時間があって、「待てない」「待ってくれない」今の世の中にとってオアシスのような場に感じました。そういった場を作ること、ダンスのあり方を改めて見つめる、そんな時間となりました。

コーディネーターから

昨年プラットフォームの活動を体験していることもあり、リラックスして活動することができた児童が多くいたように感じました。担当するのは、白神ももこさん。人が見逃してしまうような些細な事柄にも面白みを見出すアーティストで、終始ワークショップでは一緒に楽しみながら、子どもたちの感覚をつかもうとしていました。新聞紙やトイレットペーパーを使ったからだ遊びで、子どもたちのアイデアや動きを次々と引き出していく、それを超楽しむ白神さんがいて、またそれがなんとも楽しい空間になっていました。子どもたちのどんな動きにも肯定的な声がけがあって、子どもたちも回を重ねるごとに伸び伸びと動けるようになったのが印象的でした。先生方も一緒にワークを行い、フォローしてくださったことで、充実した取組になったと思っています。

先生から

初対面のアーティストの方から刺激を受け、それに対して自分の思う通りに動く楽しさを子どもたちは感じていました。そして、自分の表現がすべて受け入れてもらえた満足感のある時間だったと思います。正解のない、違っても、違うからみんないいと言われる芸術の良さを満喫していました。課題としては、５時間もの時間を体育科のカリキュラムにどう入れるのかという点でした。今後も限られた時間の中での学校運営が求められる中、毎年あるとは限らないプラットフォームの位置付けが難しいと感じています。

子どもたちから

もっとダンスがしたい。／いろんなともだちといろんなダンスを楽しんだことが思い出に残った。／しんぶんしをつかってやったダンス。／モモンガさんのダンスかっこよかった。ぼくはワクワクしてきた。／みんなで楽しくおどれてよかった。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

横浜市立横浜市立ろう特別支援学校＋Offsite Dance Project スクール・オブ・ダンス９

※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 と連動して実施

担当アーティスト	アオキ裕キ（ダンサー、振付家）／アシスタント：西篤近、木村愛子、カントジファ（薄井信介、伊澤陽一、菅又健）
実施校	ろう特別支援学校（保土ケ谷区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／高等部 31 名、公開授業参加者 50 名
実施日程	2021 年 12 月 20 日(月)、2022 年 1 月 14 日(金)、2022 年 1 月 17 日(月)、2022 年 1 月 19 日(水)、2022 年 1 月 24 日(月)、2022 年 1 月 28 日(金)、2022 年 1 月 31 日(月)、2022 年 2 月 7 日(月)、2022 年 2 月 22 日(火)

授業のねらい

ダンサー・振付家のアオキ裕キさんによる体験型ワークショップを 10 日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、生徒たちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。生徒たちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が生徒たちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。最終日の公開授業にて成果発表を行う。

主な内容

＜１日目＞新人 H ソケリッサ!の舞台鑑賞、今後の取組の説明とトライアル実践　＜２日目＞ウォーミングアップ、絵のイメージで踊る、踊りを絵を描く　＜３日目＞ウォーミングアップ、前回のフィードバック、空っぽのダンス、３人組で踊る　＜４日目＞ウォーミングアップ、イメージのキャッチボール（２人組）、歩いて止まる（グループ）　＜５日目＞ウォーミングアップ、歩いて止まる、ポーズ（変な形）、人の彫刻（感覚を開く）　＜６日目＞ウォーミングアップ、人と一緒に踊ってみる、ライブ演奏＆ダンス　＜７日目＞ウォーミングアップ、３人組で自由に踊る、３人組での創作　＜８日目＞ウォーミングアップ、グループでの創作＜９日目＞ウォーミングアップ、確認／発表

アーティストから

我々と生徒のみんなとの言語コミュニケーションはスムーズでは無い中で、踊りによって寄り添い、隔たりを超えていくような景色を目の当たりにしました。当初ろう状況の生徒たちへの WS ということで、踊りへのハードルがあるのではとどこかで構えて臨んでいましたが、でも実は表現力や集中力など目を見張ることが多く、学びと発見の連続でした。また、総じてに感じた呼吸の合わせ方、間の取り方に、素晴らしさを感じました。またグループでの作品創作の折に、演奏参加のカントジファに皆それぞれ曲のイメージを伝えていたのも合わせ、聴覚に障害はあってもみんなの中には自身の心地良いリズムや音楽がきちんと存在しているように思えました。もちろん未だ問いを持ちながらではありますが、それは健常者の視点での勝手な解釈がろう者の可能性を阻まないことの大切さを体感する瞬間でした。少数派が活躍できる視点をこれからも持ち続けたいと思います。

コーディネーターから

ろう特別支援学校での取組が初めてでした。生きる力を踊りとして表現するアオキ裕キさんに担当していただきました。１日１コマで 10 日間、限られた時間の中で聴覚に障害のある生徒といかにコラボしていけるのか手探りでした。初日にアオキさん率いる路上生活経験者によるダンス集団「新人 H ソケリッサ！」のパフォーマンスを鑑賞してもらい、トライアル体験。そして、身体と絵を用いたイメージの展開を繰り返すことで個人の踊りを確立することから初めて、他者とのフィードバックや共同作業で少しずつ世界を広げていく。また、音楽演奏者と向き合って身体全体で感じてグループでの創作にも取り組み、最後に発表を行いました。生徒は身体で伝えることで育まれた表現力や集中力があり、毎回身体表現の豊かさに驚かされました。アオキさんから生徒へのポジティブコメントを先生が掲示してくれて学習意欲が継続されるような工夫にも助けられました。コロナ感染拡大の影響で９日間となりましたが、今回の体験を踏まえて、「dance for all」の精神を実践していきたいと思っています。

先生から

「自分の感じたことを大切にする」ことを学びました。教育活動の中で、生徒に正解を求めたり、意味を求めたりすることが多い中で、生徒の感じ方、表現をもっと大切にするべきだと気付くことができました。特に、「自分の表現を大切にしてください」「したいことをしてください。したくないことはしないでください。」「みんなの表現はすばらしい」といった、アーティストさんからの言葉がけで、回を重ねるごとに生徒たちはさまざまな表現をしていました。

子どもたちから

ダンスよりは先輩との関係が少しよくなった。／絵を見て、感じたことをおどるのが楽しかった。／頭を使わず何にも考えないで表現することが経験したことなくとても楽しくできた。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム　スクール・オブ・ダンス　事業実施報告書

発行：横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局）
作成：ＳＴスポット横浜

《お問い合わせ先》〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸 1-11-15　横浜ＳＴビル 208
ＮＰＯ法人ＳＴスポット横浜内　横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
電話：045-325-0410　ファックス：045-325-0414　メール：toiawase@y-platform.org